

CASBEE® 広島

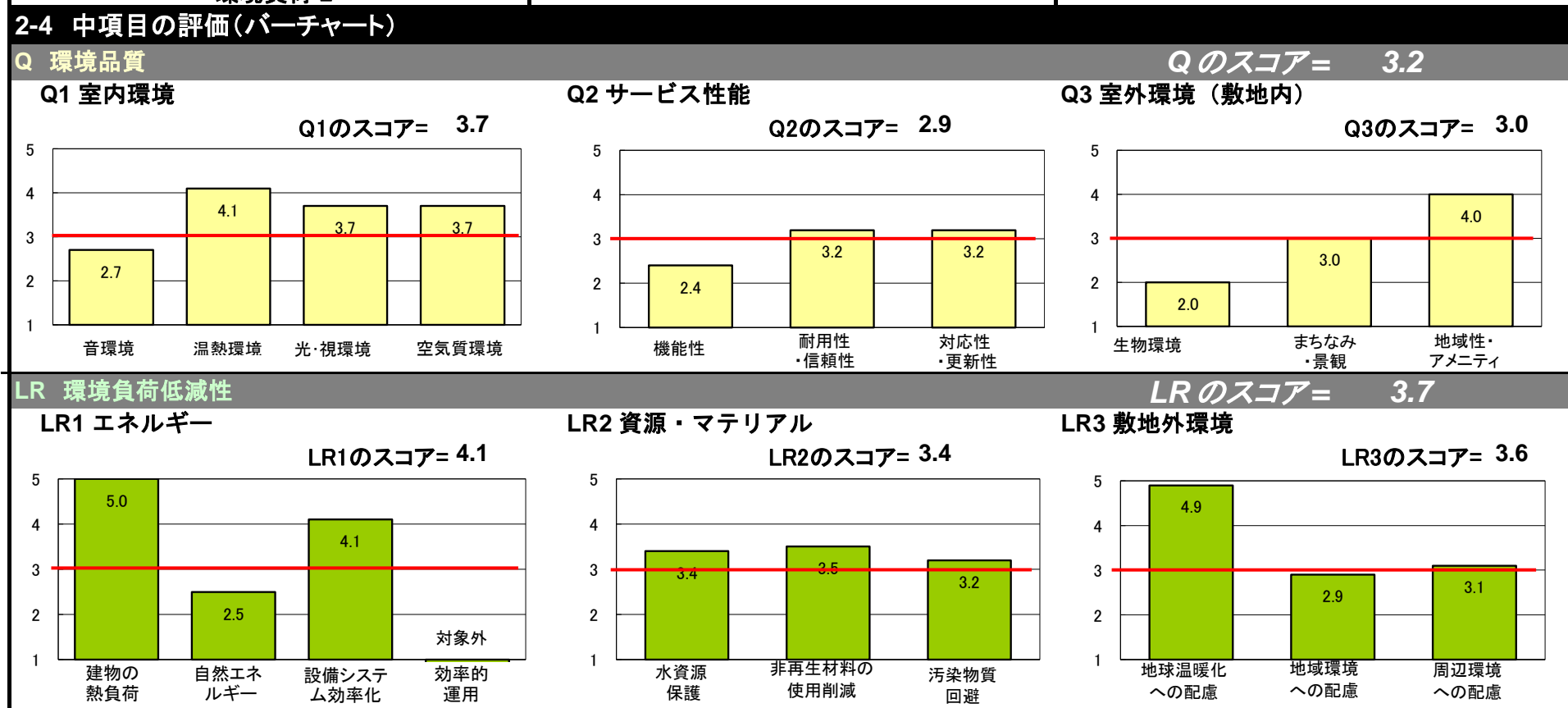
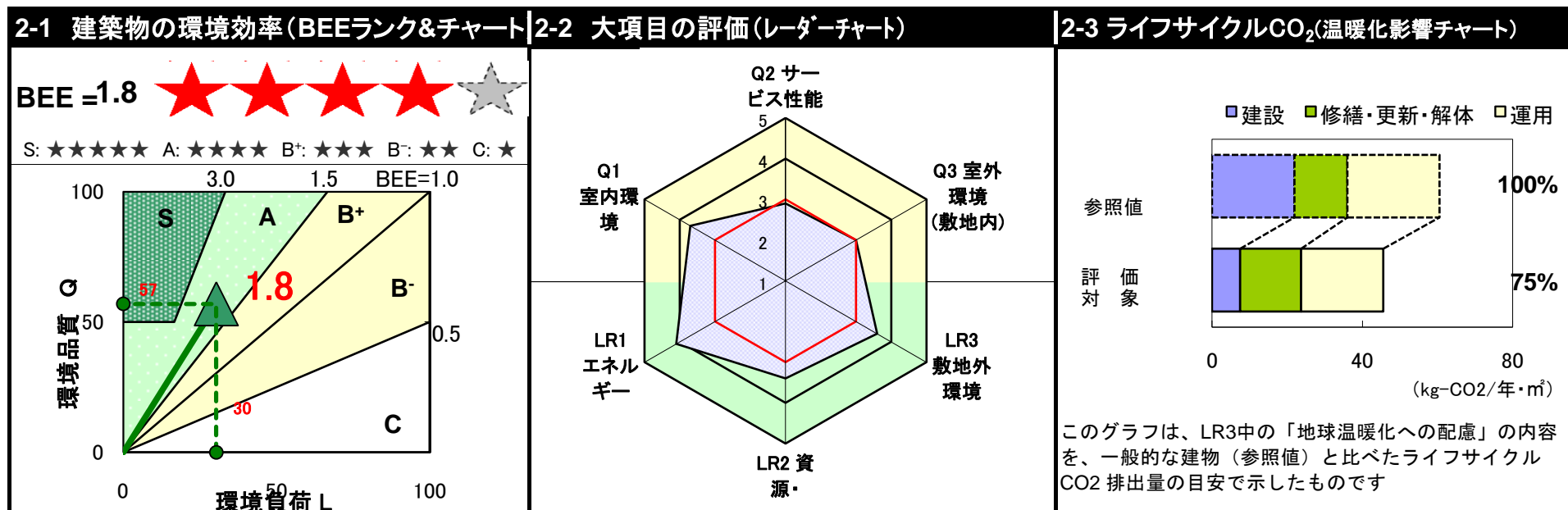
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島市宮吉島住宅更新事業 5区画	階数	地上7F
建設地	広島市中区吉島新町一丁目863-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	173 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014/12/末 予定	評価の実施日	2013年8月25日
敷地面積	2,667 m ²	作成者	五洋建設(株)
建築面積	791 m ²	確認日	2013年8月28日
延床面積	3,595 m ²	確認者	五洋建設(株)



3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.8

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.2	スコア = 2.8	スコア = 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 住宅性能評価の温熱環境に関するにおいて、最高ランクの等級4を確保するため、外皮及び窓の断熱性能を高めた。//適切な照明計画を行った。//水資源を考慮し、節水型便器を採用。また、解体時を考慮し、非構造材料にエコマーク商品のリサイクル資材を採用。/住宅性能評価の劣化対策を等級3となるよう配慮した。(住宅が限界状態に至るまでの期間が3世代以上と言われる)	設計の計画上特段に配慮した事項 適切な緑化計画を行った。/適切な量の駐車場、自転車置き場を確保した。	設計の計画上特段に配慮した事項 外装にはタイル貼りではなく外装複層塗装とすることにより、補修間隔が短くなるのをおさえ、衛生設備の給水及び排水管は概ね40年以上の耐用年数が見込める配管を採用した。/

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される